News Release

2016 年 4 月 27 日

ユーグレナ社と JA 全農、微細藻類ユーグレナの飼料活用に向けた共同研究契約を締結しました

～バイオ燃料製造過程で取れる脱脂ユーグレナを飼料として活用することを目指します～

株式会社ユーグレナ
全国農業協同組合連合会

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、社長：出雲充、以下、ユーグレナ社）と全国農業協同組合連合会飼料畜産中央研究所（以下、JA 全農）は、2016 年 4 月、微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の飼料活用に向けた共同研究契約を締結したことをお知らせします。

ユーグレナ社では微細藻類ユーグレナの油脂を利用したバイオジェット・ディーゼル燃料の製造に関する研究を進めていますが、微細藻類ユーグレナから油脂を抽出した残さである脱脂ユーグレナには、動物の生育に必要なタンパク質が豊富に含まれるため飼料としての活用が期待されています。

今般ユーグレナ社と JA 全農は、脱脂ユーグレナを鶏や豚等の家畜へ与える飼養試験を行う共同研究契約を締結しました。共同研究では脱脂ユーグレナの飼料としての使用可能量や効果の検証を行い、脱脂ユーグレナを飼料として実用化することを目指す予定です。

なお、両社では 2015 年 1 月から 2016 年 3 月の間に準備実験として、脱脂ユーグレナの成分分析や採卵鶏を対象とした脱脂ユーグレナ入り飼料の飼養試験を実施し、産卵成績に影響がないことを確認しています。

実施期間：2016 年 4 月～2017 年 3 月末（予定）
試験場所：JA 全農　飼料畜産中央研究所（場所：茨城県つくば市作谷 1708-2 ）

以上